

名古屋市の総合計画の歴史

○本市の総合計画の歴史と市政を取り巻く状況

年度	1975 (S50)	1976 (S51)	1977 (S52)	1978 (S53)	1979 (S54)	1980 (S55)	1981 (S56)	1982 (S57)	1983 (S58)	1984 (S59)	1985 (S60)	1986 (S61)	1987 (S62)	1988 (S63)	1989 (H1)	1990 (H2)	1991 (H3)	1992 (H4)	1993 (H5)	1994 (H6)	1995 (H7)	1996 (H8)	1997 (H9)	1998 (H10)	1999 (H11)	2000 (H12)	2001 (H13)	2002 (H14)	2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	～
市長	(S48～) 本山政雄					○西尾武喜					○松原武久					○河村たかし																							
名古屋市の総合計画	○基本構想 「ゆとりとうるおいのあるまち」 ①基本計画 — ○第1～4次短期計画 ○第5～8次短期計画					②新基本計画 「住みたくなるまち名古屋」 ○第1～4次推進計画					③新世紀計画2010 「誇りと愛着の持てるまち・名古屋」 ○第1～3次実施計画					④中期戦略ビジョン 「歴史に残る街・ナゴヤ」																							
総合計画に掲げた潮流	「潮流」としての記載なし					「主要潮流への対応」として3項目の記載 1 高齢化 2 国際化 3 技術革新・高度情報化					「時代の潮流」として5項目の記載 1 少子・高齢化 2 ゆとり・心の豊かさ指向 3 国際・広域交流 4 地球環境問題 5 高度情報通信社会					「時代の潮流」として6項目の記載 1 少子高齢化の加速と人口減少の進行 2 安心・安全に対する危機感の増大 3 「個」の時代における新たなつながりへの期待 4 グローバル化の浸透 5 地球環境問題の深刻化 6 地域主権型社会の幕開け																							
総合計画に掲げた都市像	【望ましい都市の姿】 ◆安全で快適なまち ◆文化の香り高いまち ◆豊かで活気のあるまち ◆心のふれあいとつながりあるまち 記載なし					【いきいきと暮らせるまちをめざして】 健康都市づくり 生きがい都市づくり 【世界に開かれた活力ある都市をめざして】 国際・交流都市づくり 技術集積都市づくり 【感性ゆたかな都市をめざして】 文化を大切にする都市づくり 快適環境都市づくり					【名古屋が目指す8つの都市像】 福祉・安全都市 生きがい実感都市 循環型環境都市 快適空間都市 にぎわい創造都市 文化ふれあい都市 情報・産業技術都市 国際交流拠点都市					【5つのまちの姿】 人が支えあい、信頼される行政運営が行われているまち 人を育み、人権が尊重されているまち 安全で安心して暮らせるまち 個性と魅力があふれ、活発に交流するまち 便利で快適な生活環境に囲まれ、うるおいが感じられるまち																							
主要な出来事	世界 ○第2次石油ショック					○プラザ合意					○リオ地球サミット					○ベルリンの壁崩壊 ○Windows95発売 ○米同時多発テロ ○リーマンショック ○イラク戦争勃発 ○SNS・スマホブーム																							
	日本 ○つば科学博					○昭和天皇崩御 ○阪神・淡路大震災 ○パブル崩壊					○地方分権一括法施行					○政権交代 ○東日本大震災発生																							
	名古屋・愛知 ○世界デザイン博開幕 (市政100周年)					○東海豪雨 ○愛知万博 ○ごみ非常事態宣言 ○中部国際空港開港					○開府400年 ○COP10開催																												
名古屋市人口	(S44) 200万人突破					○210万人突破					○220万人突破																												

次期総合計画の策定に向けた検討

